

食品の放射線量測定について

質問(高野 礼子議員)道の駅那須
与一の郷に導入した食品放射線
量測定システム機器の利用状況
及び利用方針について伺います。
答弁(市長)農産物の放射能汚染
に対する消費者の不安払拭のた
め、道の駅那須与一の郷に導入い
たしました食品放射線測定シス
テム機器は、農産物を段ボールな
どのこん包状態のままでもベルト
コンベヤーに載せ、連続的に短時
間で測定できる特徴を持った機
器であります。

十一月二十四日から市内十三
箇所の直売所で販売されている
農産物を対象に検査を実施して
おります。十二月五日までの利用
状況は、導入してから数日しか経
過しておらず、件数として多くは
ありませんが、玄米、もみ米、キャ
ベツ、白菜、ナシ、ジャガイモなど
二十五件の検査を実施し、その結
果、放射性ヨウ素及びセシウムに
ついては、機器の検出限界値未満
でありました。
また、直売所で販売する以外の



バイパス工事着工に向けた取り組みを進めています

国道バイパスの整備見通しについて

質問(滝田 一郎議員)親園佐久山
バイパスについて、市としての今
後の早期着工への対策、取り組み
として見通しについて伺います。
答弁(市長)本路線は、朝夕の通
勤時間等に交通渋滞が発生する
ため、早急な改善が望まれている
ところであります。
バイパスの建設につきまして
は、全体計画の約三千四百メー
トルのうち、第一期工事区間の約千
二百メートルが平成二十二年に
開通したところであります。第二

期工事については、主要地方道矢
板那珂川線から市道ライスライ
ン親園線までの約二千二百メー
トルの区間が計画されており、こ
の区間の事業採択に向けて、本年
九月、十月の二回にわたり大田原
市単独で、また十一月には本市と
さくら市で結成する大田原氏家
線改修促進期成同盟会によりま
して、栃木県へ要望を行っている
ところであります。
現在栃木県は、財政健全化計画
のとちぎ未来開拓プログラムを

実施しており、新規事業には着手
できない状況にありますが、大田
原土木事務所におきましては、本
路線の優先順位が非常に高い路
線として位置づけ、早期整備を
図るべく、ことし十月に佐久山地区、
親園地区において法線説明会を
実施し、おおむね了解を得たこ
ろであります。
現在は、地質調査を実施してお
り、平成二十五年度の新規事業の
凍結解除に向けた取り組みを実
施していただいているところで
あります。
今後とも事業の採択、早期着工へ
向けて、市も全面的に協力をし、
機会あることに要望していく考
えであります。



道の駅に導入された放射線量測定機器